

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0286

(注)本稿は2013年10月29日から11月14日まで6回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.11.14

前田 高行

アラブの男女格差は軒並み世界100位以下:2013年版世界男女格差報告

(MENA なんでもランキング・シリーズ その8)

目次	頁
1. 「世界男女格差報告2013」について	2
2. MENA の平均世界順位は118位、日本も136カ国中105位	3
3. 分野別順位	3
4. 2009～2013年の総合ランクの推移	5
5. 中東5カ国と日米中の要素別比較(レーダーチャート)	6

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第8回のランキングは世界経済フォーラム(World Economic Forum, WEF)が行った「世界男女格差

報告2013(The Global Gender Gap Report 2013)」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

1. 「世界男女格差報告2013」について

「世界男女格差報告2013(The Global Gender Gap Report 2013)」(以下「2013年版報告書」)を
発表した「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, WEF)は、スイスのジュネーブに本部を置く
非営利団体であり、毎冬スイスのダボスで行われる「ダボス会議」の主催者としてよく知られてい
る。

「2013年版報告書」は世界136カ国を対象に経済、教育、健康、政治の4つの分野について、世
界或いは各国の公的機関が公表する男女別のデータに基づき、それぞれの分野の男女間の格差
を指数化し順位付けを行ったものである。

* WEF ホームページ: <http://www.weforum.org/videos/global-gender-gap-report-2013>

(1) 比較対象される分野とその内容

対象とされるのは以下の4つの分野であり、各分野にはそれぞれ二つ乃至五つの比較項目があ
る。

I 経済参画分野: 経済活動への参加度及び参画の機会(Opportunity)に関する男女格差

比較項目: (1) 労働参加比率、(2) 同一労働賃金格差、(3) 平均所得格差、
(4) 幹部職比率、(5) 専門・技術職比率

II 教育分野: 教育の機会に関する男女格差

比較項目: (1) 識字率、(2) 初等教育就学率、(3) 中等教育就学率、(4) 高等教育就学率

III 健康・寿命分野: 健康と寿命に関する男女格差

比較項目: (1) 新生児男女比率、(2) 平均寿命

IV 政治参画分野: 政治参画の度合に関する男女格差

比較項目: (1) 女性議員比率、(2) 女性閣僚比率、
(3) 過去50年間の女性元首(首相等)在任期間

(2) 指数化の方法と順位付け

136カ国について上記四つの分野の各比較項目に関する男女それぞれの数値或いは比率のデ
ータを抽出し、この男女のデータについて男性を1とした場合の女性の指数を算定する(最大値は1
とする)。この指数の意味は、指数1の場合男女が完全に平等であることを意味しており、指数が低
くなればなるほど男女の格差が大きいことを示している。

各比較項目の指数を加重平均したものを、その分野の指数とする。最後に4つの分野の指数を
加重平均したものがその国の格差指数であり、136カ国の指数を上位から順に総合順位を付ける
のである。

2. MENA の平均世界順位は118位、日本も136か国中105位（末尾添付表 8-T01 参照）

「2013年版報告書」は、上記の方法により136か国のそれぞれの総合指数を算出し順位付けを行ったものである。このうちMENA（MENAの定義は冒頭参照）は16か国が順位付けの対象となっている。今回調査対象とならなかったのはイラク、リビア、チュニジア、パレスチナ自治政府の3ヶ国1機関である。

MENA 諸国の世界ランクの特徴はイスラエルを除く15か国が全て100位以下と言う極めて低いレベルにあることである。MENA トップのイスラエルの世界ランクは53位である。イスラエル以外のMENA 各国の世界ランクは殆ど差が無い。イスラエルに続くのは UAE（世界ランク109位）であり、110位台にはバハレーン（112位）、カタール（115位）、クウェイト（116位）、ヨルダン（119位）と続いている。

120位台にはトルコ（120位）、オマーン（122位）、レバノン（123位）、アルジェリア（124位）、エジプト（125位）、サウジアラビア（127位）、モロッコ（129位）の7か国がいる。そして最下位クラスの130位台はイラン（130位）、シリア（133位）及びイエメン（136位）であり、イエメンは世界最下位でもある。MENA の世界平均順位は118位であり、イスラエルを除くMENA 諸国は男女格差が大きく、男女平等が遅れた地域と言えよう。

ちなみに世界1位はアイスランドであり、2位以下にはフィンランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧3か国が並んでいる。そして5位にはアジアでただ1か国フィリピンがランク付けされている。これに対して日本は105位である。日本は米国（23位）はもとよりシンガポール（58位）、中国（69位）よりもかなり低く、インド（101位）の後塵を拝し、韓国（111位）をわずかに上回る低いランクである。日本は男女格差が非常に大きな国であると評価されている。

3. 分野別順位（末尾添付表 8-T03 参照）

経済、教育、健康・寿命及び政治の四分野ごとに見た MENA 16か国の順位は以下のとおりである。

(1) 経済分野の男女格差

経済分野の男女格差が MENA で最も小さいのはイスラエルで、同国の世界順位は56位である。第2位以下は全て世界100位以下であり、カタール（世界順位106位）、クウェイト（同115位）、バハレーン（同117位）、UAE（同122位）、オマーン（123位）と GCC 諸国が続いている。総合順位127位のサウジアラビアはこの分野では134位である。経済分野の MENA の平均世界順位は121位となっており、総合の平均順位118位より少し劣っている。MENA では経済分野における男女格差が大きいと言えよう。

因みにこの分野における日本の世界順位は104位である。

詳しい内容を見ると女性管理職のランクは世界106位であり、専門技術職の世界ランク79位に

比べ女性の昇進の壁が厚いようである。また賃金の男女格差は世界平均を下回る87位に留まっている。

(2) 教育分野の男女格差

教育分野ではUAEが世界1位である。カタール(世界53位)、クウェイト(同57位)、ヨルダン(同68位)が世界の上位グループに入っている。これに続くのはバハレーン(同71位)、イスラエル(同82位)、レバノン(同87位)、サウジアラビア(同90位)、オマーン(同94位)、シリア(96位)、イラン(98位)であり、これら MENA の上位11カ国が世界100位以内に入っている。世界順位100位以下の国はトルコ(104位)、アルジェリア(106位)、エジプト(108位)、モロッコ(109位)及びイエメン(134位)であり、これらの国は女性教育への取り組みが不足しているようである。

この分野の MENA の平均世界順位は85位である。総合順位では世界100位以内がイスラエル1国であることに比べ、この分野では UAE の1位を始め100位以内が16カ国中の11カ国に達し MENA 諸国の教育分野における男女格差は比較的小さいと言える。特に湾岸産油国は MENA 諸国の中でも女性教育が普及していることがわかる。

日本は世界91位である。この分野では男女格差の無い国が UAE の他米国等24カ国にのぼる。日本は文盲率、初等・中等教育は男女に差が無いが、高等教育の男子進学率が女子をわずかに上回っているため平均スコアは0.976となっている。これにより日本の世界順位は98位とされ、この分野ではごくわずかなスコアの差で順位が大きく上下することがわかる。

(3)健康・寿命分野の男女格差

MENA 諸国のこの分野における特徴は男女格差が比較的小さいことである。特に国別で見た場合レバノンが世界1位であり、指数 0.9796 は男女間で殆ど格差が無いことを示している。この分野は世界的に見ても男女の格差が少なくフィンランド、フィリピン、カザフスタン、ウガンダ、スリ・ランカ、ブラジルなど136カ国中の4分の1近い31カ国が同一指数で世界1位とされている。但し指数はあくまで男女の格差を示すものであって、先進国フィンランドと開発途上国ウガンダの健康・寿命のレベルが同じことを意味していないことに注意すべきであろう。

例えばカタール(世界129位、指数 0.9522)、UAE・クウェイト(同112位、0.9612)に対して、イエメンが81位(指数 0.9727)であることに見られるように、医療福祉制度の充実した湾岸産油国が総合評価で世界最下位のイエメンよりも男女格差が大きいという意外な結果を示している。これはおそらく湾岸産油国では制度が男女の格差をはらんだまま発達しているのに対し、イエメンでは制度が未発達のため男女の格差がかえって小さいという逆説的な状況を示しているのかもしれない。

日本は指数が 0.9791 で世界ランクは34位である。平均寿命は女性が男性を上回るため指数は1.00となるが、新生児の男女比率は男性が女性を上回っているため指数は0.94となっている。この分野では二つの項目(新生児の男女比率及び男女の平均寿命)によって指数が算出されているが、136カ国全ての指数が0.92を上回っており、経済(上記1)、教育(上記2)及び政治(下記4)など他の

分野に比べて殆ど格差が無いのが特徴である。

(4)政治分野の男女格差

この分野は世界各国の政治体制の違いに左右される面が大きい。またこの分野はトップのアイスランドの指標が 0.7544、米国が 0.1593 であるなど上記の健康・寿命指標に比べて世界的に指標値が低く、また各国間の格差が大きい。MENA 各国の指標もトップのイスラエルですら 0.1643 にとどまり、指標 0.1 以下の国が多数ある。因みに日本は 0.0603(世界 118 位)、中国は 0.1604(同 59 位)である。

MENA 諸国間の比較で男女格差が少ないと評価されているのは、上記のイスラエル(世界 57 位)のほかアルジェリア(同 62 位)、UAE(同 81 位)などであり、反対に格差が最も大きいのはカタールの 135 位である。その他レバノン(133 位)、オマーン(132 位)、イエメン(131 位)などであり、いずれも世界 136 か国中の最低レベルである。GCC6 カ国の中で比較的高い評価を受けているのは UAE のみであり、他は男女格差が大きい。特にカタールの指標は 0.0000 であり、女性の政治分野への進出がまったく閉ざされているとの厳しい評価がなされている。

政治の男女格差は女性の国会議員、閣僚及び過去 50 年間の女性元首(首相等)の在任期間でランク付けされているため全体的に各国ともスコアが低く、また同じ先進国でもヨーロッパに比べ日米のランクが低い結果となっている。

4. 2009～2013年の総合ランクの推移

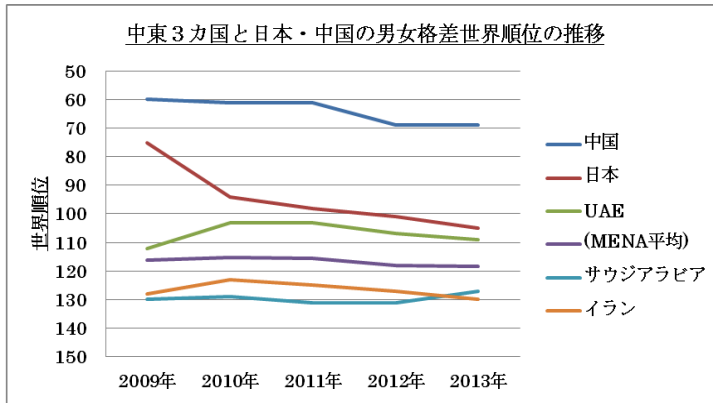
2009年から2013年までの5カ年間の MENA 各国の順位の推移を追うと概略以下の通りである。

(1) MENA では5年連続でイスラエルがトップ、イエメンが最下位 (末尾添付表 8-T02 参照)

5カ年を通じてイスラエルは常に MENA 1 位であり、しかも世界 50 位前後と 2 位以下が全て 100 位以下であるのに比べ大きな開きがある。MENA 2 位は 2010 年以降 4 年連続で UAE である。バハレーンは 6 位(09 年)→5 位(10 年、11 年)→4 位(12 年)→3 位(13 年)と MENA における地位を毎年上げている。またトルコも同様に MENA 世界順位が 5 年間を通じて 129 位→126 位→122 位→124 位→120 位と上昇傾向にある。これに対してシリアは 5 年間の世界順位が 121 位(09 年)→124 位(10 年、11 年)→132 位(12 年)→133 位(13 年)と毎年下がり続け、世界最下位のイエメン(136 位)との差が殆ど無くなっている。またイランも 2010 年以降は毎年世界順位が下がっており、2010 年の 123 位から 2013 年には 130 位である。

(2) MENA も日本も世界順位は毎年悪化の一途

UAE、サウジアラビア、イランの 3 カ国と MENA 平均に日本及び中国 2 カ国を加えて過去 5 年間の男女格差世界順位の推移を比べると日本の順位の下落が顕著である。2009 年には日本は世界 75 位であったがその後 94 位(10 年)→98 位(11 年)→101 位(12 年)→105 位(13 年)と毎年下がり続けている。



中国も過去5年間で順位を下げているが60位(09年)→61位(10年)→61位(11年)→69位(12年)→69位(13年)と日本ほどではなく世界全体の中ではほぼ中間に位置している。

MENAの世界平均順位を見ると、2009年の116位から2013年の118位まで殆ど変化がない。これを指数の

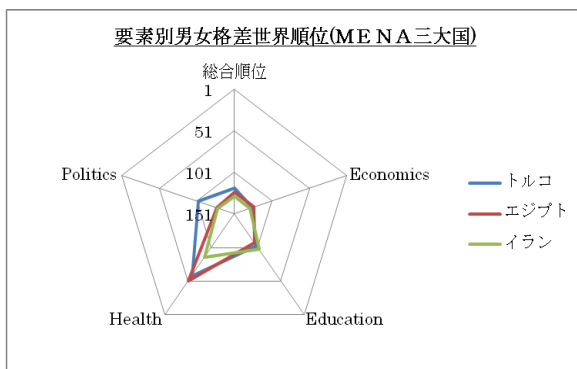
平均値で見ると0.5999(09年)→0.6012(10年)→0.6035(11年)→0.6041(12年)→0.6053(13年)と毎年上がっている。それにもかかわらず MENA 諸国の平均順位が上がらないのは、改善のペースが世界の平均以下にとどまっていることを示している。

サウジアラビア、イランおよび UAE3カ国の過去5年間の世界順位はサウジアラビアが130位(09年)→129位(10年)→131位(11年)→131位(12年)→127位(13年)、イランは128位(09年)→123位(10年)→125位(11年)→127位(12年)→130位(13年)、そして UAE は112位(09年)→103位(10年)→103位(11年)→107位(12年)→109位(13年)である。サウジアラビアとイランは共に世界順位に大きな変化はないが、イランが2010年以降低落傾向にあるのに対し、サウジアラビアは2013年にイランを追い抜き上向き傾向が出ている。UAE は2010年に前年から順位を上げたがその後は下落傾向にある。

5. 中東5カ国と日米中の要素別比較(レーダーチャート)

MENA 三大国(トルコ、エジプト、イラン)、GCC2カ国(サウジアラビア、UAE)及び MENA 平均並びに日本、米国、中国3カ国を取り上げ、総合順位と4つの分野別順位(経済、教育、健康及び政治)をレーダーチャートで表してみる。レーダーチャートは最も外側が世界1位(つまり男女格差が世界で最も小さい)であり、以下中心に向かうほど順位が低くなる(即ち男女格差が大きい)。グラフの実線が外側に広がるほど男女格差が少ないことを示し、また真円に近いほど男女格差のバランスが取れていることを示している。

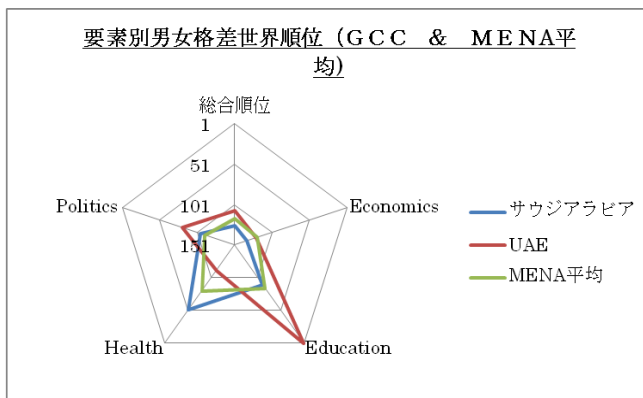
(1) チャート1(トルコ、エジプト、イラン)



トルコ、エジプト、イランは総合順位が世界120位、125位、130位といずれも低ランクにとどまっている。4つの分野の中では3カ国とも経済分野の男女格差が120位台後半で最も悪く、また政治ランクもエジプト、イランが悪い(トルコは103位)。教育分野ではイランが3カ国の中で最も高い世界98位でありトルコは104位、エジプト108位となっている。健康は男女格差が比較的少ない分野であり、エジプト51位、トルコ59位と世界の上位グループに食い込んでおりイランも87位で

ある。

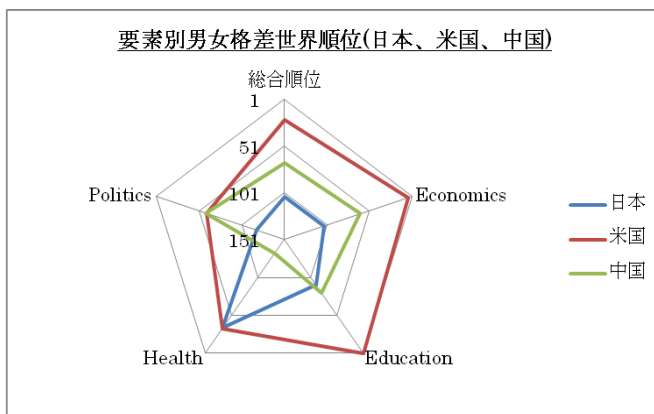
(2) チャート2(サウジアラビア、UAE 及び MENA 平均)



総合順位は UAE109位、MENA 平均118位、サウジアラビア127位である。経済分野の男女格差は UAE と MENA 平均はほぼ同じであるがサウジアラビアは世界最低レベルの134位である。政治分野も UAE の世界81位に対しサウジアラビアは105位である。この分野の MENA 平均は世界111位であり GCC の男女格差は他の MENA 諸国に比べ比較的小さいことがわかる。教育分野

はいずれも総合順位よりも高く、特に UAE は世界1位(スコア0)で男女格差が無い。健康分野ではサウジアラビアが世界52位にランクされているが、UAE は MENA 平均の81位と比べ112位と低いランクにとどまっている。

(3) チャート3(日本、米国、中国)



総合順位では米国が23位であるのに対して、中国及び日本はそれぞれ69位、105位にとどまっており特に日本のランクの低さが目立つ。米国は教育の男女格差が世界1位であり、また経済でも世界6位のトップクラスである。同国のランクが低い(即ち男女格差が大きい)のは政治分野であり、ここでは中国の世界59位を下回る60位にとどまっている。中国は経済、教育、政治

のいずれの分野でも日本を上回っているが、健康分野だけは男女格差が世界最低レベルの133位である。

総合105位の日本は経済(104位)、政治(118位)が世界ランク100位以下であり、教育(91位)も米国、中国より低い。日本が高いランク付けを得ているのは健康分野のみであり、世界34位は米国の33位に次ぐランクにある。日本は健康分野を除き、経済、教育、政治の各分野の男女格差が大きいと評価されている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

MENA(中東・北アフリカ)22カ国 なんでもランキング

その8: 男女格差指数2013 (The Global Gender Gap Index) (対象国数: 136カ国)

Country	国名	総合順位・指数		
		世界順位	MENA 順位	Index
Israel	イスラエル	53	1	0.7032
UAE	UAE	109	2	0.6372
Bahrain	バハレーン	112	3	0.6334
Qatar	カタール	115	4	0.6299
Kuwait	クウェイト	116	5	0.6292
Jordan	ヨルダン	119	6	0.6093
Turkey	トルコ	120	7	0.6081
Oman	オマーン	122	8	0.6053
Lebanon	レバノン	123	9	0.6028
Algeria	アルジェリア	124	10	0.5966
Egypt	エジプト	125	11	0.5935
Saudi Arabia	サウジアラビア	127	12	0.5879
Morocco	モロッコ	129	13	0.5845
Iran	イラン	130	14	0.5842
Syria	シリア	133	15	0.5661
Yemen	イエメン	136	16	0.5128
Iraq	イラク	-	-	-
Libya	リビア	-	-	-
Palestine Autonomy	パレスチナ自治政府	-	-	-
Tunisia	チュニジア	-	-	-
	(MENA 平均)	118		0.6053
	世界 1 位	アイスランド	-	0.8731
	最下位	イエメン		0.5128
Japan	日本	105	-	0.6498
USA	米国	23	-	0.7392
China	中国	69	-	0.6908

Source: World Economic Forum (WEF)

<http://www.weforum.org/videos/global-gender-gap-report-2013>

男女格差指数2013 (The Global Gender Gap Index) 要素別

国名	総合順位	Economic Participation and Opportunity	Education Attainment	Health and Survival	Political Empowerment
アルジェリア	124	133	106	108	62
バハレーン	112	117	71	112	113
エジプト	125	125	108	51	128
イラン	130	130	98	87	129
イラク	-	-	-	-	-
イスラエル	53	56	82	93	57
ヨルダン	119	128	68	90	117
クウェイト	116	115	57	112	126
レバノン	123	126	87	1	133
リビア	-	-	-	-	-
モロッコ	129	129	109	88	111
オマーン	122	123	94	59	132
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
カタール	115	106	53	129	135
サウジアラビア	127	134	90	52	105
シリア	133	136	96	58	112
チュニジア	-	-	-	-	-
トルコ	120	127	104	59	103
UAE	109	122	1	112	81
イエメン	136	132	134	81	131
(MENA 平均)	118	121	85	81	111
アイスランド	1	22	1	97	1
日本	105	104	91	34	118
米国	23	6	1	33	60
中国	69	62	81	133	59

Source:World Economic Forum (WEF)

<http://www.weforum.org/videos/global-gender-gap-report-2013>

男女格差指数(The Global Gender Gap Index)2009～2013年世界順位

年度	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
アルジェリア	117	119	121	120	124
バハレーン	116	110	110	111	112
エジプト	126	125	123	126	125
イラン	128	123	125	127	130
イラク	-	-	-	-	-
イスラエル	45	52	55	56	53
ヨルダン	113	120	117	121	119
クウェイト	105	105	105	109	116
レバノン	-	116	118	122	123
リビア	-	-	-	-	-
モロッコ	124	127	129	129	129
オマーン	123	122	127	125	122
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
カタール	125	117	111	115	115
サウジアラビア	130	129	131	131	127
シリア	121	124	124	132	133
チュニジア	109	107	108	-	-
トルコ	129	126	122	124	120
UAE	112	103	103	107	109
イエメン	134	134	135	135	136
(MENA 平均)	116	115	116	118	118
世界1位	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド
最下位	イエメン	イエメン	イエメン	イエメン	イエメン
日本	75	94	98	101	105
米国	31	19	17	22	23
中国	60	61	61	69	69
(調査対象国数)	134カ国	134カ国	135カ国	135カ国	136カ国

Source:World Economic Forum (WEF)

<http://www.weforum.org/videos/global-gender-gap-report-2013> 他